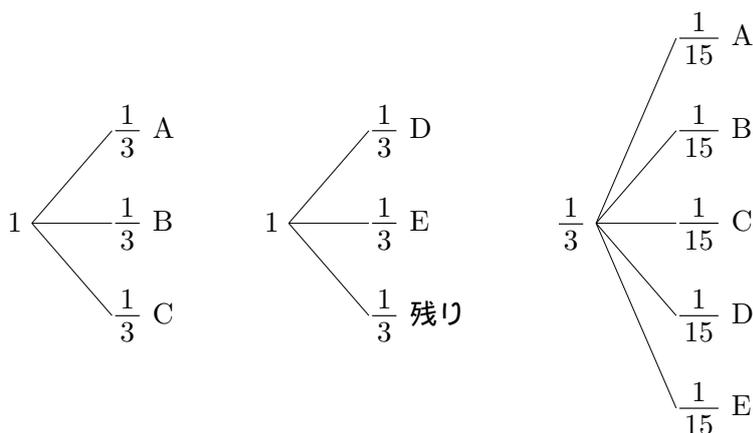


(1) 例えば $2 \div 5 = \frac{1}{3} + \frac{1}{15}$ のように割り算を分子が1の分数の足し算として考えることができます。これは次のように考えることができます。

A, B, C, D, Eの5人が2を1にわけ、それぞれを3等分します。そしてできた6つ(1つは $\frac{1}{3}$)を5人が1つずつ取ります。すると1つの $\frac{1}{3}$ が残ります。そしてその残りを5等分してそれぞれを5人で分けます。ですから1人の取り分は $\frac{1}{3} + \frac{1}{15}$ となります。この考え方を図にすると、下のようになります。



この考え方を使って、次の にあてはまる数を求めなさい。

(1) $4 \div 7 = \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square}$

(2) $3 \div 11 = \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square}$

(3) $4 \div 5 = \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square}$

前頁の図をまとめてみました。

